

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2022/01/17

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	33.21	-0.02
JPY/THB	0.2907	-0.0004
USD/JPY	114.19	-0.01
EUR/THB	37.89	-0.18
EUR/USD	1.1411	-0.0044
USD/CNH	6.358	-0.007
SGD/THB	24.62	-0.06
AUD/THB	23.94	-0.26
USD/INR	74.15	0.27
USD Index	95.17	0.38

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.426	-0.001
10Y (THB)	2.095	0.005
5Y (USD)	1.558	0.085
10Y (USD)	1.784	0.080

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	1,816.5	-4.9
WTI (Oil)	83.82	1.7
Copper	9,719.5	-239.0

Stock

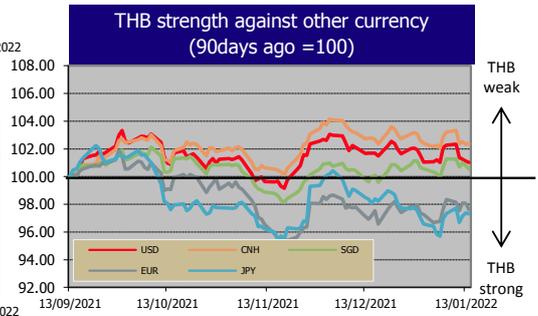
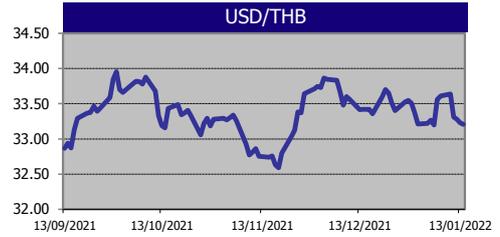
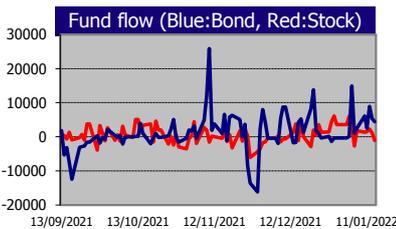
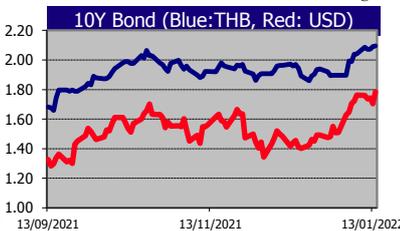
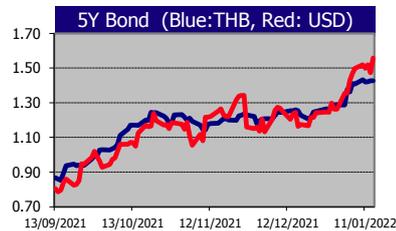
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,672.63	-7.39
NIKKEI (JP)	28,124.28	-364.85
DOW (US)	35,911.81	-201.81
S&P500 (US)	4,662.85	3.82
SHCOMP (CN)	3,521.26	-34.00
DAX(GER)	15,883.24	-148.35

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	(1,060)	-2203.6
Bond net flow	4,420	-970.5

*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

先週末金曜日のドルパーツは横ばい推移。バンコク時間は33.20近辺でオープン。この日、タイのピパット観光・スポーツ相が外国人観光客に対し、早ければ4月1日より300パーツの入国料を徴収するとの方針が示されたが、ドルパーツの反応は限定的となり、米3連休を前に横ばいで推移し、結局33.20近辺でクローズした。

●ドル円その他

昨日のドル円は下値トライ後に反発。東京時間のドル円は114.10円近辺でオープン。日銀がインフレ上昇を受けて、利上げを検討しているとのニュースが材料視され、18日のBOJを前にドル円は下値トライを継続。米12月小売売上高の発表を前に一時113.50円割れを示現するが、同経済指標が市場予想を大きく下回るとショートカバーが強まり、ドル円は反発。米3連休を前にポジション調整が引けまで続き、結局114.20円近辺でクローズした。

Bangkok Dealer's Eye

先週のマーケットはFOMCの前にFED高官の発言を確認する最後のタイミングでありましたが、12日の米消費者物価指数(CPI)が39年ぶりの水準まで上昇する中、引続きタカ派スタンスの発言が見られました。市場予想では3月FOMCの会合ではほぼ100%の確率で利上げが織り込まれており、年内4回の利上げ確率が50%を超える等、ここ1ヶ月間で利上げ前倒し観測が急速に進んできております。一方、金曜日に発表された12月の小売売上高が市場予想を大きく下回ったことで、FEDの金融引き締めに対して懸念も強まっており、ポリシーエラー懸念から米株式市場はボラティリティが高まる中、市場の警戒感も強く意識される状況です。日本についても、各国のインフレ高進を受けて日銀が利上げを検討するとのニュースも見られており、2022年のマーケットは米利上げを前に不透明間が増えております。ドルパーツについては、米国の利上げ前倒しが強まる中でも上値重い推移が継続しており、33台前半での様子見ムードで推移しております。タイではオミクロン株の感染が強まり、足元では8,000人近辺での推移が続いておりますが、ワクチン接種率が70%を超え、重症化患者も低位で推移していることもあり、昨年の夏ごろのような警戒ムードは見られていません。今後コロナの感染拡大の波でセンチメントも上下変動することが見込まれますが、withコロナの生活も定着してきている印象があり、目先はオミクロン株の感染を切り抜けるべく、タイパーツも日常生活も少し我慢の時間となりそうです。(橋)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.